

株主との対話

株主との建設的な対話に関する方針

当社では、IRや株主担当部門として経営企画部を設置しており、担当役員は取締役副社長執行役員、経営企画部長は上席執行役員としています。また、株主や投資家等との対話に当たっては、日常的にその他関連部署と連携を図っています。

投資家からの個別面談や電話取材、スモールミーティング等に積極的に対応するとともに、年2回アナリスト・機関投資家向けの決算説明会を開催し社長及び担当役員等が説明しています。また、個別面談や電話取材、決算説明会等で得られた重要な意見等については、適宜取締役にてフィードバックすることとしています。

対話に当たっては、インサイダー情報の取扱いについて定めた内部情報管理規程を遵守し、インサイダー情報を開示しないこととしています。

株主との対話の主な対応者

通常の個別面談については、IR担当である上席執行役員経営企画部長が対応しており、決算説明会においては、社長が説明するほか、各担当取締役及び執行役員が対応しております。

対話を行った株主の概要

国内の投資家が大部分を占めておりますが、国内外の機関投資家と対話を行っております。

対話の主なテーマ

- ・中期経営計画の概要、進捗
- ・ROE向上のための施策
- ・サステナビリティ、ESG

対話において把握された意見等のフィードバック

個別面談や電話取材、決算説明会等で得られた重要な意見等については、適宜取締役にてフィードバックすることとしています。